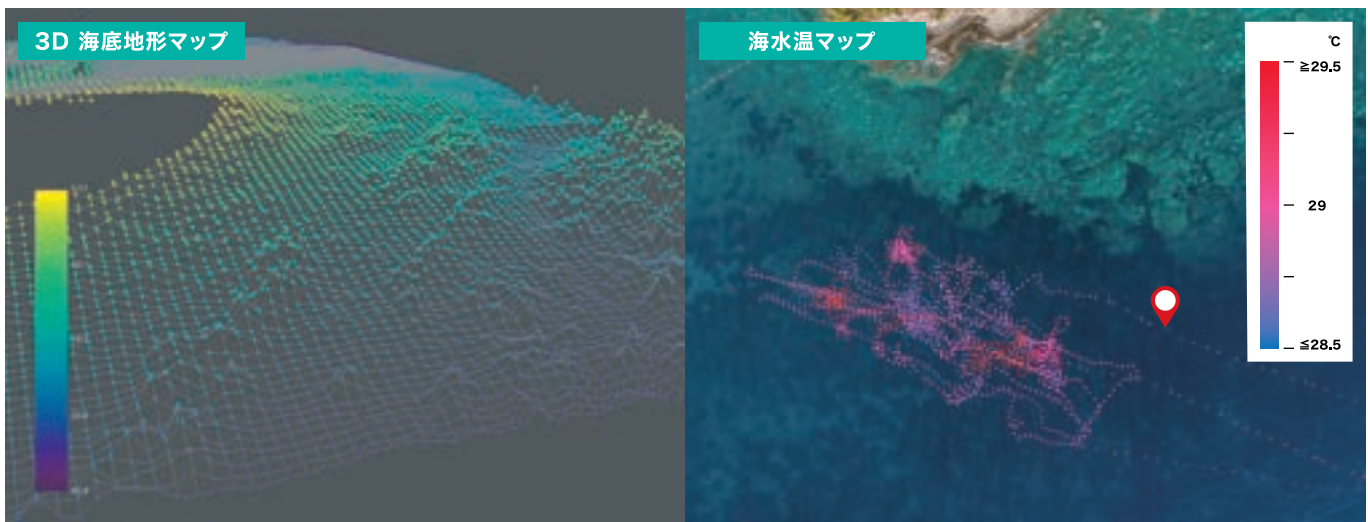


漁業と協働する計測手法で沿海情報の可視化を実現。

SeaUp™
Submarine Topography
Surface Temperature

複数漁船の既設魚群探知機から得られる測深データや水温計のデータをLTE網でクラウドに常時接続し、蓄積された漁船ビッグデータをもとに沿海の海底地形マップと海水温マップをSaaS提供します。



専門的な計測作業

狭域の統計分析や地形の可視化

漁業の平時運用でデータ蓄積

オンデマンドで必要領域の複合情報

現状の課題例

- 1 港湾管理用の海底地形図の調査費用が高額であり、結果報告までの時間もかかる
- 2 人工衛星画像では、沖合の漁場の海底地形が把握できない
- 3 海面養殖場で水温を定点観測しているが広域な海水温分布としては把握できない
- 4 サンゴ礁白化の一因である海水温上昇について、経年変化量の実測値が不十分である

計測に際しては操業者による作業を必要とせずに漁法に役立つ精度で操業者は各種情報が得られます。長期的なデータ蓄積により海底地形の変化量や海水温の経年変化も可視化します。

日次更新・コスト削減

Lead Time & Cost

適正な漁場選択と収益の向上

Optimization

環境変化の定量的把握

Analysis

気候変動への適応

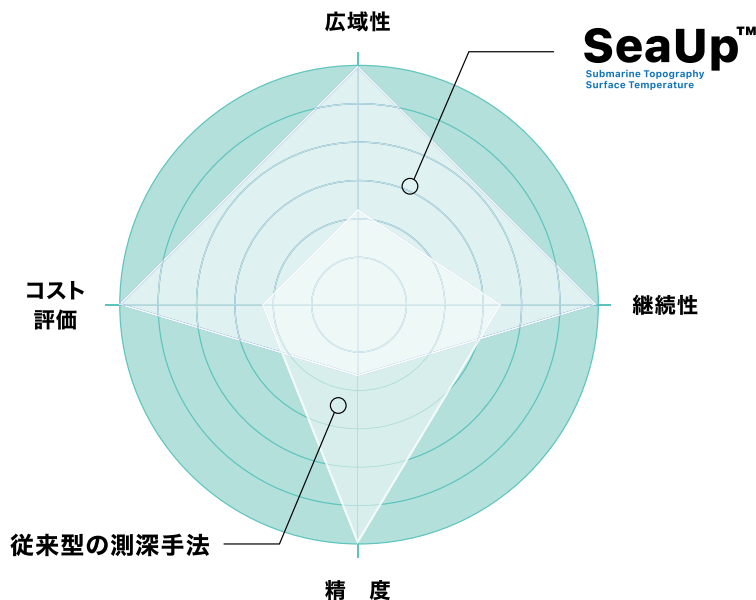
Social Contribution

解決策は裏面へ！

SeaUp™

Submarine Topography
Surface Temperature

既存の魚群探知機を利活用。
深度情報と水温センサー情報により漁業に
役立つ精度の海底地形情報と海水温マップを
SaaS提供します。



コスト評価

専門的な機器や測深分析を必要とせずに
海底地形マップを低コストで利用できる

精度

漁法や環境保護に必要とされる精度で
各種情報が閲覧できる

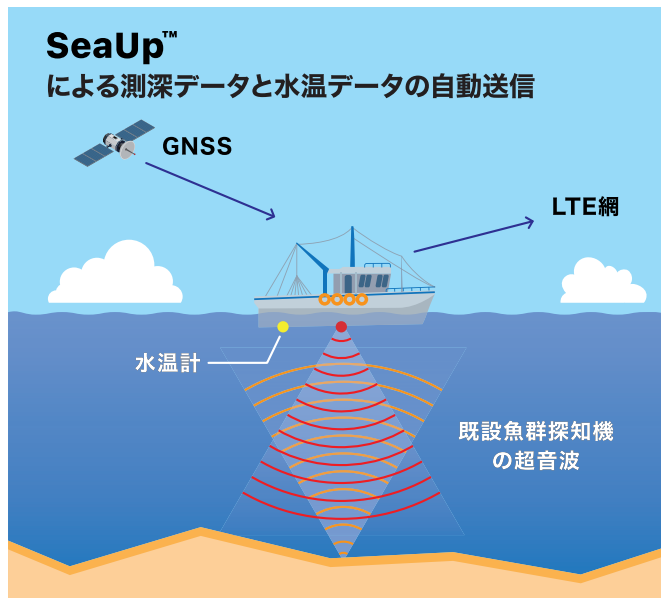
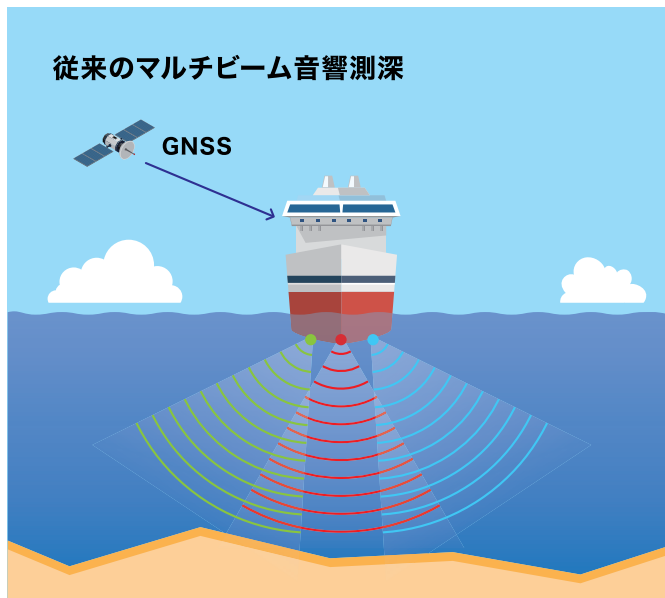
広域性

漁船や各種船舶が操業する広範囲で
環境情報が蓄積する

継続性

操業期間の累積情報をビッグデータ化し
経年変化量を把握できる

従来の測深手法との比較



公益財団法人東京都中小企業振興公社様による「令和4年度ゼロエミッション推進に向けた事業転換支援事業(製品開発助成金)」を活用しています。

Upside
Upside LLC.

Upside合同会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17
TEL 03-6261-3973 Email info@upside-llc.com
URL www.upside-llc.com